

鱒川水系河川整備基本方針

平成16年2月

長 崎 県

鱒川水系河川整備基本方針

目 次

1 . 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	1
(1) 鱒川流域の概要	1
(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	4
1) 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	4
2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項並びに 河川環境の整備と保全に関する事項	4
3) 河川の維持管理に関する事項	5
2 . 河川の整備の基本となるべき事項	6
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項	6
(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項	6
(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に 関する事項	7
(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に 関する事項	7

< 参考図 >

鱒川水系流域概要図

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(1) 鱒川流域の概要

鱒川は、五島列島福江島のほぼ中央に位置し、父ヶ岳(標高 460.8m)、七ツ岳(標高 431.3m)等の山々にその源を發し、郷津川等の支川と合流しながら北流したのち岐宿湾に注ぐ、流路延長約 14.7km、流域面積約 32.4km²の二級河川です。その流域は、大部分が南松浦郡岐宿町に属しており、最上流部の一部が玉之浦町及び富江町となっています。流域内の人口は、約 2,000 人となっています。

流域の気候は比較的温暖で、年平均気温は 17 程度です。年間降水量は 2,300 mm程度ですが、台風や梅雨期の集中豪雨の影響を受け、夏季と冬季の降水量較差が大きくなっています。そのなかでも、特に梅雨期の豪雨によって災害が多く発生しています。

流域の地形は、中上流域が標高 300m から 500m 程度の山々に囲まれた盆地となっているのに対し、下流域は玄武岩からなる溶岩台地となっており、鱒川は河口近くまでV字の峡谷の様相を呈しています。

中上流域の平地部は古くから農業が盛んで、五島列島の穀倉地帯となっており、鱒川の河川水は農業用水として利用されています。また、平地部から峡谷部へ入った山木戸橋下流には鱒川ダムがあり、鱒川の水の一部は隣接する小川原川に導水され、発電が行われています。

鱒川の治水・利水・自然環境及び河川利用状況の概要は、以下のとおりです。

治水の概要

鱈川は、川幅が狭く屈曲部も多かったため、過去に幾度となく洪水氾濫を起こしています。特に昭和 42 年 7 月の洪水の際には、鱈川中流域の田畑が湖のように冠水し、ほとんどの橋梁が流失しました。

この洪水を契機として、山木戸橋（河口から上流 7.9km 地点）から柿ノ木場橋^{かきのこばばし}（11.8km 地点）間の河川改修工事が行われ、また、中尾橋^{なかおばし}（13.4km 地点）よりも上流や支川郷津川についても災害復旧とあわせた河川の改修が行われています。

しかしながら、河川改修が行われていない片岸橋^{かたぎしばし}（12.3km 地点）付近では、現在でも毎年のように浸水被害に見舞われています。このため、周辺の二本楠^{にほんくす}地区の住民は豪雨のたびに不安な生活を余儀なくされており、抜本的な治水対策が望まれています。

利水の概要

鱈川の河川水は、中上流域の水田約 440ha の農業用水として利用されるとともに、鱈川ダムを利用した発電用水として使われています。

当河川では、渇水時期に中流域において農業用水が不足する傾向がありますが、隣接する水利組合間での渇水調整により大きな被害とはなっていません。

自然環境及び河川利用状況

鱈川上流域は、スギ・ヒノキ植林やシイ・カシ萌芽林などの山地となっていますが、中尾橋付近からは川沿いに平地が増え水田がひろがっています。河川にはまだ改修されていない区間も多く、屈曲部や狭窄部が残っており、ところどころに形成されている瀬や淵は、タカハヤ、カワムツ、ヨシノボリ類などの魚類の生息の場となっています。また河畔林も数箇所残っており、カワセミやミソサザイなどの鳥類の生息域となっています。

中流域は河川沿いに水田がひろがっており、そのなかを鱈川は流下しています。河川は改修され直線的な流路ですが、そのなかには小規模な瀬や淵が形成され、水際にはカサスゲ群落やジュズダマ群落などの多年草が群生しています。連続的に形成されている瀬や淵はカワムツ、ヨシノボリ類などの生息の場となっており、水辺では魚を餌とするミサゴ（環境省レッドデータブック準絶滅危惧種）やカワセミなどの姿もみられます。中上流域を通じて、河川沿いの道路は、地域住民の散歩道や農耕用の通路として利用されていますが、河道へ降りる階段等の施設が少なく、水辺に近づくことが困難なこともあり、水遊びや魚釣り等

の利用は見られません。

下流域では、河川は V 字谷の谷底を蛇行しながら流下しており、両岸は溶岩の切り立った崖となっています。河道は自然河道で瀬と淵が形成され、カワムツ、ヨシノボリ類などの魚類が生息しています。また、シイ・カシ萌芽林やスギ・ヒノキ植林が水際までせまっており、良好な水辺環境を有しています。河口部では干潮時に小規模な干潟が形成され、サギ類やカモ類が多くみられます。河川沿いには道がなく、河川を眺望できるのは鱈川橋や元越大橋もどごえおおはしからのみとなります。

鱈川は水質に係る公共用水域の環境基準 A 類型(BOD 2.0mg/ℓ以下)の指定を受けており、山木戸橋で経年的に水質観測が行われています。最近 10 年間(平成 5 年～平成 14 年)の BOD75%値の平均は 1.9 mg/ℓで、環境基準を満しています。

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

長崎県は、長期総合計画の中で「地域を支え合う安全・安心な社会づくり」、「自然環境と人々が共生する社会づくり」を政策に掲げ、安全で快適な生活環境づくりをめざしています。

鱒川の整備においても、これらの基本理念に基づき、関連地域の社会・経済の発展に係わる諸計画（岐宿町総合計画等）との調整を図りながら、源流から河口まで一貫した計画のもとに、河川の総合的な保全と利用を図ります。

またその際、地域へ水文・水質等の河川情報を提供するとともに、河川に対する要望の集約、河川の整備・保全に係る取り組みの促進、河川の維持に係る取り組みの支援を行い、地域住民と連携した川づくりを行います。

1) 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

鱒川においては、想定氾濫区域の状況等を考慮し、計画規模の降雨により発生する流量の安全な流下を図ります。

また、整備途上における施設能力以上の洪水や計画規模を超過する洪水等に対しては、洪水による被害を最小限に抑えるために、関係機関と連携して警戒避難及び情報連絡体制の整備等のソフト対策を総合的に実施するとともに、ハザードマップ作成に向けた支援を行います。さらに、災害に強い地域づくりのため、土地利用計画との調整を行うなど、流域と一体となった取り組みを推進します。

2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項並びに河川環境の整備と保全に関する事項

近年、地域住民生活に著しく影響を与えた渇水実績はありませんが、今後とも地域住民、岐宿町や関連する他行政機関との緊密な連携のもとに、現在の河川環境に配慮しつつ、合理的な水利用の促進等適正な水利用が図られるよう努めます。

また、タカハヤ、カワムツ、ヨシノボリ類などの生息の場となっている河道内の瀬や淵や、カワセミ、ミソサザイなどが棲む河畔林の保全に努めるとともに、今後の河川整備にあたっては、生態系の連続性に配慮するなど、よりよい動植物の生息・生育環境づくりに努めます。

3) 河川の維持管理に関する事項

災害の発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から、その機能を十分に発揮させるための維持管理を適切に行います。

2. 河川の整備の基本となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量は、基準地点山木戸橋において $490 \text{ m}^3/\text{s}$ と設定し、これを河道に配分します。

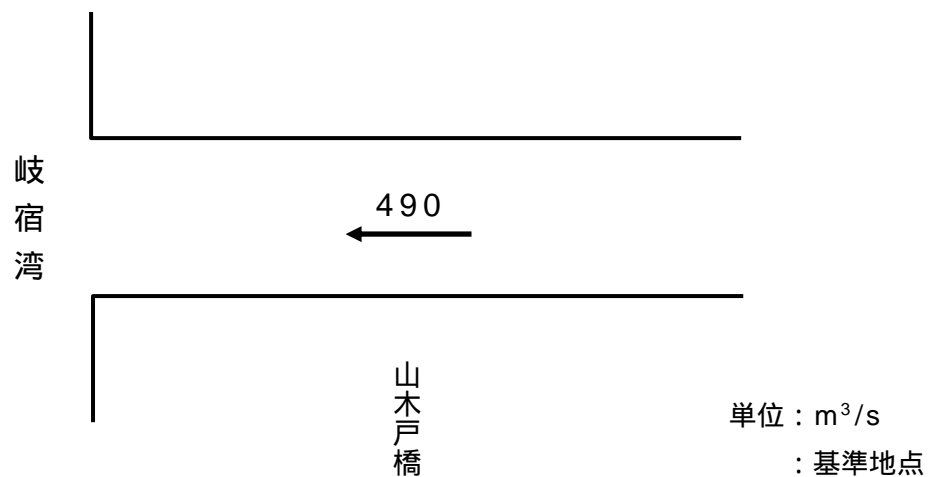
基本高水のピーク流量等一覧表

(単位： m^3/s)

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
鰐川	山木戸橋	490	-	490

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

鰐川における計画高水流量は、基準地点山木戸橋において $490 \text{ m}^3/\text{s}$ とします。



鰐川計画流量配分図

(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は次表に示すとおりとします。

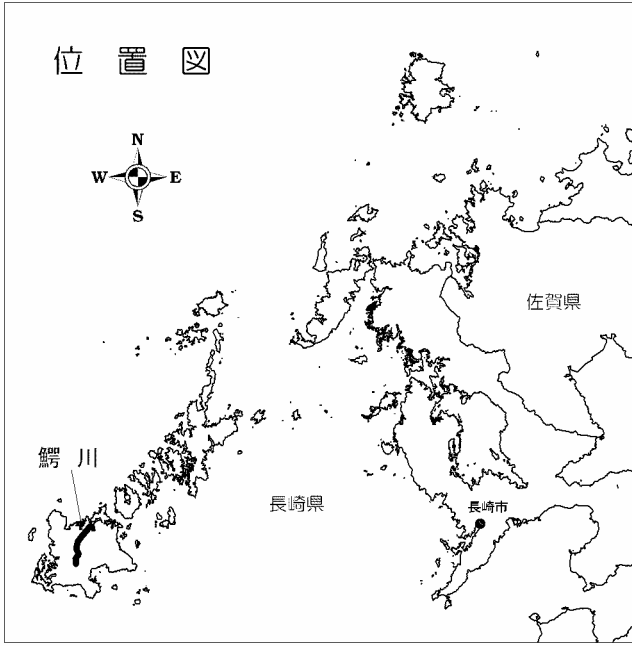
主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅一覧表

河川名	地点名	河口からの距離(km)	計画高水位(m)	川幅(m)	摘要
鱈川	山木戸橋	7.9	47.33	45	基準地点

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

鱈川の河川水は、約 440ha の水田に対する農業用水及び鱈川ダムによる発電用水として利用されています。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量に関しては、今後、流量データの蓄積、水利用の実態把握等に関する調査検討を行います。



<参考図> 鱈川水系流域概要図